

「クリーンな環境づくり」を目指し、ボランティアによる海岸清掃



地域資源を活かした生活環境の向上で 「潤いのあるまち」

環境を考え公共下水道 の整備を進めます

潤いある生活を守るためには、環境の保全は重要な課題です。居住空間の衛生環境と河川や海などの環境を守るため、引き続き公共下水道の整備を進めていきます。あわせて、このような環境保全対策から、重要な漁業資源の保護も期待できます。

定住者住宅も水洗化を進め、また町営住宅の維持修繕についても専門の技術者を置き、快適な居住空間を提供できるよう努めていきます。

関係機関と協力しながら 道路整備を進めます

道路の整備は、日常の生活や救急医療のほか、観光交流のために欠かせないものです。そのため、渡島半島横断道路の必要性と効率的な整備促進について、関係町と連携しながら早期完成に努めていきます。

国道は、私たちにとって日常生活や防災面での生命線となります。災害を未然に防ぐため、トンネルや海岸擁壁の改修などについて、引き続き関係機関に要請し、災害に強い道



舗装工事を予定している本町9区夕陽が丘通り3号支線

平成16年度治山工事予定

- 1 [西大里] 老人ホームの裏
- 2 [島歌他] 山林の保育工事

平成16年度町道整備路線

- 1 町道島歌線道路維持補修工事（島歌）
路面整正50m
- 2 町道夕陽が丘通り3号支線
（本町9区：発出さん宅～林さん宅の間）
改良舗装工事124m



北海道が防災工事を予定している急傾斜地（農協スタンド～セイコーマートの裏斜面）

自然災害は、暮らしの安全をおびやかす大きな要素です。そのため、河川の護岸維持や崩落の恐れがある急傾斜地の防災対策、また、馬場川防潮水門の適正な管理を行いながら、関係機関と連携し、ともに災害に強いまちづくりを進めていきます。

防災対策については日頃の意識づくりが大切であることから、防災行政無線の活用や地区別の防災訓練を行うなど、緊急時に迅速な対応ができるよう体制づくりに努めます。

また、町民皆さんの安全を確保するため、消防体制の充実・強化を進めます。特に、救急医療体制を充実させるため、救急救命士の育成とともに、平成17年度の高規格救急自動車導入に向けての準備をしていきます。

瀬棚町では、交通安全指導員を中心とした地域ぐるみの活動により、

路づくりを進めます。

また、身近な生活路線である道道、町道の整備についても、関係機関と協力しながら、整備や適正な維持管理に努めていきます。

災害に強く交通事故のないまちづくりに努めます

平成16年度整備市街地下水道工事予定箇所

- 1 [三本杉] 広沢さん宅～三本杉トンネル（海側）
- 2 [三本杉] 瀬山さん宅～民宿海の家（海側）
- 3 [三本杉] 神社～今さん宅（山側）
- 4 [三本杉] 神社～本市さん宅（山側）
- 5 [南 川] 吾妻橋～中村さん宅（山側）

潤いのある生活空間をつくるためには、町民の皆さんによる生活環境づくりと、参加が欠かせません。国道緑地帯の花壇の造成活動のように、みんなで力をあわせて美しいまちづくりを行うなど、クリーンな環境づくりのために、ゴミの不法投棄や減量化についての啓発にも努めていきます。

1千日以上、交通死亡事故ゼロを続けているところですが、今後も交通事故が起これないまちづくりに努めます。

町民皆さんとクリーンな環境をつくりまします

主な仕事

住宅環境

●定住者住宅の水洗化78万円●町営住宅の維持補修290万円

交通安全対策

●交通安全対策（指導員・活動団体支援・啓発など）170万9千円●三本杉の函館バス巡回場を移設100万円

防災対策

●防災行政無線の管理事業費201万5千円●馬場川防潮水門の管理679万9千円

消防

●救急救命士の養成234万5千円●消防職員の被服整備36万9千円●消防学校派遣13万8千円●婦人防火クラブの活動助成8万円●全道消防操法訓練大会出場114万5千円

町民の軽減負担

●函館バスの運営費助成175万6千円●街路灯の維持助成385万円●町営バスの運行1,198万3千円

地域交流活動

●花のまちづくり（国道花壇づくり）146万円●町民センター屋上の防水改修工事380万円

道路・海岸・河川・下水道

●町道の維持補修270万円●町道の維持管理360万円●町道夕陽が丘通り3号支線の改良舗装120万円●町道島歌線の維持補修28万円●最内川河床整理32万円●町道の除雪事業費、防雪柵設置・撤去については補正で実施